

東海国立大学機構

大学文書資料室ニュース

Tokai National Higher Education and Research System
University Archives News

第42号 2025. 3

目次 Contents

| | |
|-----------------------|---|
| 国立大学の年史編さんの現在（堀田慎一郎） | 2 |
| 令和5年度に大学文書資料室が受け入れた資料 | 3 |
| ホームカミングデイで2つの企画を行いました | 4 |
| ホームカミングデイでの企画20年のあゆみ | 5 |
| 資料室日誌（抄） | 6 |
| 名大史をつむぐ資料を本室に！ | 8 |



第3グリーンベルトで行われた、第24回名大祭（1983年）のファイヤーストーム
（写真提供：小田拓史氏〔1984年名大工学部卒〕）

国立大学の年史編さんの現在

大学文書資料室 堀田 慎一郎

近年、名古屋大学では令和4（2022）年に『名古屋大学の歴史 1871～2019』上・下巻が、岐阜大学では令和元年に『岐阜大学の七十年』が刊行されましたが、他の国立大学でも年史の編さんが相次いでいます。下の表には、2004年度以降の、通史の頁数が400頁以上のもののみを挙げましたが、それでもこれだけあります。

まず、東北大学、九州大学といった、総巻数が10巻に及ぶ旧帝国大学の百年史が編さんされたことが目につきます。そして現在、北海道大学、東京大学も、重厚なボリュームの年史編さんを進めています。名古屋大学は、令和21（2039）年に創立100周年を迎えます。大学文書資料室は、長期的にはこれを見据えて活動しています。

また、弘前大学、静岡大学、埼玉大学、鹿児島大学、そして現在刊行中の広島大学のように、平成11（1999）年前後に五十年史を刊行した後、さらに本格的な年史を編さんした大学がみられます。これは、平成16年の法人化によって国立大学のあり方が大きく変わったことを受けてのものでしょう。弘前大学や静岡大学のように、10年ごとに、内容を直近10年に特化した年史を編さんするのは、これまでにない新しいあり方だと思います。

そのほか、名古屋大学や京都大学のように、学術的な記述を担保しつつも、一般にも読みやすいことをコンセプトにした小版でソフトカバーの年史が刊行されるようになったのも新しい動きです。

そして、とりわけこの10年ほどのこととして、デジタル版のみで刊行して、これを広く一般に公開するものが出てきたことが特筆されます。九州大学百年史のような大部の年史もその方式を採用していますし、京都大学百二十五年史は通史編こそ冊子体ですが、資料編は1990年代以降の膨大なデータを大学リポジトリで公開しています。これは、経費を大幅に削減することができると同時に、検索性の観点からも、一般市民のみならず、当該大学の業務にも手軽に利用できるメリットがあります。

| 年史のタイトル | 刊行年 |
|--|-----------|
| 九州工業大学百年史（通史編、資料編） | 2009 |
| 弘前大学六十年史、同七十年史 | 2009、2019 |
| 神戸大学百年史（通史2巻、部局史、写真集） | 2002～2010 |
| 東北大学百年史（通史3巻、部局史4巻、資料4巻） | 2003～2010 |
| 静岡大学の10年（1999－2009、2009－2019） | 2010、2020 |
| 奈良女子大学百年史 | 2010 |
| 小樽商科大学百年史（通史編、学科史・資料編） | 2011 |
| 東京農工大学六〇年史 | 2011 |
| 東京工業大学130年史（本編、別冊） | 2011 |
| 大阪大学外国語学部の歴史：1992年9月－2013年11月〔大阪外国語大学〕 | 2014 |
| 熊本大学60年史（通史編、部局史編、別冊、写真集） | 2011～2014 |
| 九州大学百年史（通史編3巻、部局史編4巻、資料編4巻、写真集） | 2011～2017 |
| 埼玉大学七十年史：五十年史以降、二十年の歩み | 2019 |
| 鹿児島大学七十年史 | 2020 |
| 名古屋大学の歴史 1871～2019（上巻、下巻） | 2022 |
| 京都大学百二十五年史（通史編、資料編） | 2022 |
| 創基百五十一年筑波大学五十年史（通説編、史料編2巻、図説編） | 2023～ |
| 北海道大学百五十年史（通説編2巻、資料編4巻、写真集など） | 2024～ |
| 広島大学七十五年史（通史編刊行済、資料編等不明） | 2024～ |
| 東京大学百五十年史（通史編3巻のほか、テーマ史編、資料編（巻数不明）） | 未刊行 |

資料室だより①

○令和5年度に大学文書資料室が受け入れた資料

大学文書資料室では、令和5（2023）年度において、下表の通り特定歴史公文書等860点、公文書以外の歴史資料等2,873点、合わせて3,733点の資料を、識別番号を付した所蔵資料として正式に受け入れ、目録情報をオンライン資料検索システムにアップロードしました。

公文書管理法に基づき、東海国立大学機構から移管された法人文書等である特定歴史公文書等の移管点数は、令和4年度より203点増えています。これは令和5年度から、澤川室長の指示の下、年度末に保存期間が満了した歴史公文書についてはその翌年度中に必ず移管する原則を徹底し、それよりも前の分の移管が滞っている課等についても個別に対応し、そのような状況が生じないように取り組んでいるためです。

特定歴史公文書等以外の歴史資料等についても349点増えました。「名古屋大学関係団体等」の数が目立ちますが、そのほとんどは八高会（旧制第八高等学校同窓会）を通じて八高卒業生から寄せられた資料です。受贈したのはかなり前ですが、令和5年度に重点的に整理を行いました。

なお、左表の特定歴史公文書等は、国立大学法人としての機構の業務および名古屋大学の業務に係わるものであり、岐阜大学の業務に係わる歴史公文書については、専用書庫の準備などの態勢が整うまでの暫定措置として岐阜大学で保存しています。ただ、これまでは各部局の書庫で保存していましたが、このたび岐阜大学の本部棟に中間書庫を設け、そこで集中的に管理することになりました。

特定歴史公文書等

| 移管・寄贈元（令和5年度末現在の名称） | 点数 |
|-----------------------------|-----|
| 総務部 | 60 |
| 財務部 | 1 |
| 研究戦略部（名古屋大学教学事務部門研究協力部） | 74 |
| 経営企画部 | 32 |
| 教育戦略部（名古屋大学教学事務部門教育推進部） | 130 |
| 情報環境部 | 23 |
| 施設統括部 | 93 |
| 監査室 | 3 |
| Development Office（名古屋大学） | 8 |
| 名古屋大学教学事務部門附属図書館事務部（図書館情報部） | 21 |
| 文系事務部 | 164 |
| 情報学部・情報学研究科事務部 | 13 |
| 理学部・理学研究科・多元数理科学研究科事務部 | 22 |
| 医学部・医学系研究科事務部／名大病院事務部 | 150 |
| 工学部・工学研究科事務部 | 17 |
| 農学部・生命農学研究科事務部 | 23 |
| 環境学研究科事務部 | 7 |
| 研究所事務部 | 16 |
| 創薬科学研究科・細胞生理学センター事務室 | 1 |
| 総合保健体育科学センター事務室 | 2 |
| 合計 | 860 |

歴史資料等

| 提供・寄贈元 | 点数 |
|--------------|-------|
| 名古屋大学（本部） | 258 |
| 名古屋大学（部局） | 582 |
| 東海国立大学機構 | 15 |
| 名古屋大学関係団体等 | 1631 |
| アーカイブズ機関・博物館 | 145 |
| 大学・研究機関等 | 39 |
| 個人 | 188 |
| 学外その他 | 13 |
| 書店・古書店（購入） | 2 |
| 合計 | 2,873 |

※特定歴史公文書等の文系事務部以下の各部・室は、正確には前に「名古屋大学教学事務部門」が付くが省略した。

資料室だより②

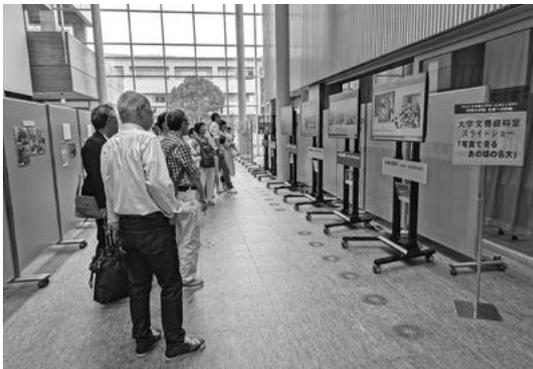
○ホームカミングデーで2つの企画を行いました

大学文書資料室（以下、本室）は、令和6（2024）年10月19日（土）に開催された第20回名古屋大学ホームカミングデー（以下、HCD）において、スライドショー「写真で見るあの頃の名大」と法人化20周年記念展「写真と図表でたどる法人化後の名大」の2つの企画を実施しました。会場はいずれも豊田講堂のホワイエですが、前者については本室のウェブサイトからも見ることができるハイブリッド方式です（現在でも見られます）。

スライドショーは、HCDのメインイベント「名古屋大学の集い」に特に招待される、卒業後50周年、40周年、30周年、20周年、10周年の卒業生の、在学期間中の写真をそれぞれ35～40枚ずつピックアップしてスライドショーにまとめて上映する恒例企画です。今回は、本部からの要望をうけて、60周年の卒業生のものも作成して6本のスライドショーになりました（ただし60周年のものはオンラインでは見られません）。

記念展の方は、HCDが法人化の翌年から始まって20回を迎えることにちなんだ企画です。写真や図表の多くは、名古屋大学編『名古屋大学の歴史 1871～2019』下巻（名古屋大学出版会、2022年）に掲載されたものから選びました。ただ、同書の対象は2019年までですので、2020年以降の写真を増補し、図表も拡充しました。

2020年以降は、新型コロナウイルス感染症流行以降でもあります。今回この展示を行うにあたり、同感染症の流行にまつわる写真が意外に残っていないことを実感しました。一方、事務組織が作成する法人文書については、同感染症関係のものは歴史公文書として特に後世に残すよう措置されているところ です。



スライドショーを観覧する人々



法人化20周年記念展を観覧する人々



1962年頃の東山キャンパス



予約者以外立入禁止措置がとられた名大祭模擬店エリア
(2022年6月)

資料室だより③

○ホームカミングデイでの企画20年のあゆみ

大学文書資料室（以下、本室）は、ホームカミングデイ（以下、HCD）において、平成17（2005）年度の第1回以来、第20回に至るまで、下の図のように毎年度休むことなく企画を行ってきました。

HCDの重要な目的の1つは、卒業生との緊密な連携強化です。そのために本室が貢献できるのは、同世代あるいは世代を超えて共有できる大学の歴史を提示することだと思います。HCD全体のメインテーマに創基や創立の周年記念等が掲げられている場合はもちろん、そうでない場合でも、むしろ本室から周年記念の年であることをアピールして、それに係わる企画を実施してきました。

ただ、企画のあり方の変遷も見られます。平成26（2014）年度までは、例外はありますが1回1企画が基本で、「ちょっと名大史」等のパネル展示、本室所蔵資料や模型の展示、スライドムービーの上映などを組み合わせた企画展が中心でした。それが平成30（2018）年度から、1回で複数の企画、また企画展以外のものも行うようになりました。そのきっかけとなったのが、スライドショー「写真で見るあの頃の名大」です。詳細は本ニュース4頁に譲りますが、設営や撤収に手間がかからず、場所もあまり取らないため、企画を増やすことができました。このスライドショーが好評で、毎年の定番企画となったこともあり、複数企画の実施が通例となりました。

平成20（2008）年度、平成21（2009）年度のように、博物館との共催で長期の大規模な企画展を実施し、その会期中にHCDを含める方式もありましたが、これを毎年に行うのは大変です。また、HCDは他にも企画が多いため、文字の多いパネルや文書資料の展示は、なかなか見ていただけないと感じることもありました。その意味では、「写真で見る～」は効果的な企画だと思います。また、そのコンテンツは学内で長く活用できますので、コストパフォーマンスも高いところです。感染症の流行により、令和2（2020）年度と令和3（2021）年度はオンラインのみの開催となりましたが、「写真で見る～」は問題なく継続することができました。

| 年度 | 企画名 |
|------|---|
| 2005 | 豊田講堂と名大キャンパスの変遷 |
| 2006 | 豊田講堂のあゆみ 特別展 |
| | 名古屋大学のあゆみ展—キャンパスの変遷— |
| 2007 | 豊田講堂のあゆみ |
| 2008 | 伊吹おろしの若者たち |
| | —八高創立百年の歴史から— |
| 2009 | 医学教育の曙からノーベル賞まで —名古屋大学創立70周年(創基138周年)記念— |
| 2010 | 「ちょっと名大史」展 |
| 2011 | 名古屋大学創基140周年記念展 「河の学校」から鶴舞へ |
| | 名古屋大学豊田講堂 1960-2011 |
| 2012 | 名大をひきいた人びと—歴代総長の群像— |
| 2013 | 名古屋大学 学部の誕生と草創期 |
| 2014 | 名古屋大学創立75周年記念展 |
| | あの総長の時代の名大 |
| 2015 | 地図・図面で見える名大キャンパスの歴史 |
| 2016 | 名古屋大学創基145周年記念展 |
| | 仮病院・仮医学校から名古屋帝国大学への道 |
| 2017 | 名大史資料展 こんな史料ありませんか |
| 2018 | 写真で見るあの頃の名大 |
| | 東山キャンパス名大史ツアー |
| 2019 | 名大創立80周年記念展 名古屋帝国大学誕生 |
| | 写真で見るあの頃の名大 東山キャンパス名大史ツアー |
| 2020 | 豊田講堂建設60周年記念展 (1) —ちょっと豊講史— |
| | 豊田講堂建設60周年記念展 (2) —ムービー・豊田講堂の歴史— |
| | 写真で見るあの頃の名大 |
| 2021 | 創基150周年記念企画 (1) パネル展：創基から官立大学へ |
| | 創基150周年記念企画 (2) ムービー：鶴舞キャンパスの発展 |
| | 写真で見るあの頃の名大 |
| 2022 | 『名古屋大学の歴史』出版記念写真展 |
| | 写真で見るあの頃の名大 |
| 2023 | 名大史とスポーツ |
| | 写真で見るあの頃の名大 |
| 2024 | 法人化20周年記念展 |
| | 写真と図表でたどる法人化後の名大 |
| | 写真で見るあの頃の名大 |

※特に記載がないものは企画展。

※会場は、2008、2009年度を除いて豊田講堂。

資料室日誌（抄） 令和6（2024）年2月～令和7（2025）年1月

- 2月1～2日 国立公文書館「アーカイブズ研修Ⅱ」を古賀恭代室員と山田三香子事務補佐員が受講（オンライン）。
- 2月2日 施設統括部施設企画課から法人文書移管（古賀室員、法人文書移管受入れ担当者は以下同じ）。
- 2月21日 大学文書資料室（以下、本室）室会議をオンラインで開催（以降、7月10日、10月16日、12月18日に開催）。
※構成メンバーは澤川和宏室長、東高之部門長、吉川卓治部門長、堀田慎一郎室員、古賀室員、畠山哲大主幹〔岐阜大学〕、福地実専門員、兵澤隆博専門員、松山和弘係員〔岐阜大学、7月以降小林光太郎係員〕、千藤弥生事務補佐員〔岐阜大学〕
- 2月21日 施設統括部設備課から法人文書移管。
- 2月22日 教育推進部国際連携課から法人文書移管。
- 2月26日 情報環境部情報企画課から法人文書移管。
- 2月27日 経営企画部経営企画課から法人文書移管。
- 2月28日 総務部人事労務課、施設統括部環境安全課から法人文書移管。
- 2月29日 施設統括部建築課から法人文書移管。
- 3月4日 堀田室員がホームカミングデイ実行委員会に出席（オンライン）〔以降4月8日、11月8日にも出席〕。
- 3月6日 教育推進部教育企画課〔リーディング・博士・PhD〕から法人文書移管。
- 3月7日 創薬科学研究科・細胞生理学研究センターから法人文書移管。
- 3月31日 『東海国立大学機構大学文書資料室ニュース』第41号、『東海国立大学機構大学文書資料室紀要』第32号を刊行。
- 4月1日 「行政文書の管理に関するガイドライン」の改訂に伴い、法人文書管理規程改正及び「文書管理の手引」改訂。
- 4月3日 新規採用職員研修で堀田室員が名古屋大学と岐阜大学の歴史について講義。
- 4月8日 工学部・工学研究科教務課から法人文書移管（5月8日にも移管）。
- 4月12日 全学教育科目「名古屋大学の歴史」（春学期）を開講（堀田室員）。
- 4月19日 岡崎高等師範学校卒業生の遺族から、黎明会（岡崎高師の同窓会）関係資料を受贈（堀田室員）。
- 5月14日 紀要、ニュースレターを学外に発送（岡田智行事務補佐員）。
- 5月15日 令和5年度に整理した資料等の書庫排架作業（以降22日、29日にも作業、堀田室員、古賀室員、山田・呉昇鍵・山本真己の各事務補佐員）。
- 5月20日 紀要第33号の投稿募集を告示。
- 5月29日 教育推進部学生支援課から法人文書移管。
- 5月31日 教育推進部学生交流課から法人文書移管。
- 6月5日 教育推進部基盤運営課から法人文書移管。
- 6月6日～7日 全国公文書館長会議及び関連行事に堀田室員・古賀室員が出席（オンライン）。
- 6月10日 堀田室員が岐阜大学柳戸キャンパスを訪問、法人文書等の選別作業。
- 6月24日 堀田室員が全学教育科目「アーカイブズ学」のゲスト講師として講義。
- 6月25日 「令和5年度に作成された印刷物の提供について」の依頼を機構本部及び名古屋大学の部局に通知（古賀室員）。
- 7月4日 野依良治特別教授と同特別教授室資料の整理及び処遇について面談（堀田室員・山本事務補佐員）。
- 7月4日 財務部決算課、医学部・医学系研究科大幸地区統括室、創薬科学研究科・細胞生理学研究センターから法人文書移管。
- 7月5日 全学教育科目「名古屋大学の歴史」で杉山直総長が講義。
- 7月5日 附属図書館情報サービス課、教育推進部入試課から法人文書移管。
- 7月17日 教育戦略部教育戦略課から法人文書移管。
- 7月18日 医学部・医学系研究科経営企画課、工学部・工学研究科総務課から法人文書移管。
- 7月19日 監査室から法人文書移管。
- 7月24日 総務部総務課、理学部・理学研究科・多元数理科学研究科から法人文書移管。
- 7月25日 内閣府に「令和5年度特定歴史公文書等の

- 保存及び利用の状況報告」を提出（古賀室員）。
- 7月26日 附属図書館東山地区図書課から法人文書移管。
- 7月29日 情報学部・情報学研究科から法人文書移管。
- 7月31日 元嚶鳴寮寮生2名来室、当時の資料を受贈のうえ、当時の嚶鳴寮について聴き取り（堀田室員）。
- 7月31日 教育推進部全学教育推進課から法人文書移管。
- 8月7～8日 堀田室員が自然科学系アーカイブズ研究会（於高エネルギー加速器研究機構、つくば市）に参加、1日目に基調講演を行った。
- 8月9日 DO室、経営企画部経営企画課から法人文書移管。
- 8月13～16日 夏期一斉休業につき閉室。
- 8月23日 文系総務課（附属学校）から法人文書移管。
- 8月24日 飯田市美術博物館が本所蔵の特定歴史公文書等（柴田邵平資料）を展示した太田用成生誕180年記念展を開催（～9月23日）。
- 9月3日 総合保健体育科学センターから法人文書移管。
- 9月4日 研究所総務課から法人文書移管。
- 9月9日 施設統括部設備課から法人文書移管。
- 9月10日 施設統括部環境安全課から法人文書移管。
- 9月11日 環境学研究科から法人文書移管。
- 9月17日 文系総務課から法人文書移管。
- 9月20日 図書館情報部情報管理課から法人文書移管。
- 9月25日 医学部・医学系研究科総務課から法人文書移管。
- 9月27日 教育推進部国際連携課、農学部・生命農学研究科から法人文書移管。
- 9月30日 文系教務課、教育戦略教育戦略課から法人文書移管。
- 10月1日 遺族から、名古屋高等商業学校卒業生旧蔵資料を受贈（堀田室員）。
- 10月15日 特定歴史公文書等ガイドラインの一部改正に伴う利用等規程の改正についての機構長から内閣総理大臣宛同意協議書を内閣府へ提出（法規担当）。〔12月4日にも提出〕
- 10月7日 施設統括部施設企画課から法人文書移管。
- 10月8日 遺族から、瓜谷郁三名誉教授旧蔵資料を受贈（堀田室員）。〔12月26日にも受贈〕
- 10月10日 財務部財務課から法人文書移管。
- 10月18日 ホームカミングデイ設営作業（堀田室員、山田・呉・山本の各事務補佐員）。
- 10月18日 医学部・医学系研究科学務課から法人文書移管。
- 10月19日 ホームカミングデイにて2つの企画を実施（本号4頁参照、堀田室員、呉事務補佐員）。
- 10月19日 名誉教授から、郭沫若揮毫書を受贈（堀田室員）。
- 10月22日 施設統括部建築課から法人文書移管。
- 10月25日 情報環境部から法人文書移管。
- 10月30日 研究戦略部（研究協力部）、名大病院人事労務課、名大病院医事課、総務部人事企画課・人事労務課から法人文書移管。
- 11月5日 施設統括部施設課から法人文書移管。
- 11月13日 教育推進部入試課（国際入試係）から法人文書移管。
- 11月28日 事務補佐員の一般公募を告示（～12/20締め切り）。
- 12月10日 「法人文書ファイル管理簿の更新等について（依頼）」を文書管理者に通知（法規担当）。
- 12月11日 田村模型（名帝大キャンパス構想模型）を本部1号館玄関から豊田講堂倉庫に移動。
- 12月12日 工学部・工学研究科教務課から法人文書移管。
- 1月22～23日 事務室・資料閲覧コーナーのエアコン更新工事に伴い、一般の資料利用を停止。

名古屋大学の卒業生、現役・退職後の教職員の方々へ

名大史をつむぐ資料を本室に！

その他、ご処分予定の資料についても、まずはご一報ください

☆在学時の配布物

(学生便覧、シラバス、試験問題
課外活動の資料…)

☆教育・研究活動、大学・部局運営に
関する資料

(各種書類、会議のメモ、備忘録、
スクラップ記事…)

☆校費による印刷物・刊行物

(冊子、パンフレット、ポスター…)

☆ご退職関係の記念冊子・記念
論集・業績集…

など



大学文書資料室の資料書庫

※ご寄贈資料は、東海国立大学機構大学文書資料室利用等規程などに基づいて、大切に保存・管理・活用させていただきます。とりわけ資料の公開につきましては、寄贈者の意向を優先しつつ、深甚の配慮をいたします。

【連絡先】 東海国立大学機構大学文書資料室（下記参照）

東海国立大学機構大学文書資料室ニュース 第42号

Tokai National Higher Education and Research System University Archives News No. 42

東海国立大学機構大学文書資料室

室長 澤川和宏（理事、事務局長）

部門長 吉川卓治

（名古屋大学史資料・編纂部門、
教育発達科学研究科教授）

部門長 東高之

（歴史公文書部門、総務部長）

室員 堀田慎一郎（特任助教、専任）

室員 古賀恭代（限定職員）

専門員 福地実（総務部総務課法規担当、
係長兼務）

事務員 岡田智行／山田三香子

千藤弥生

発行日 2025年3月31日

編集
発行

東海国立大学機構大学文書資料室

名古屋市千種区不老町〒464-8601

電話：(052) 789-2046

FAX：(052) 788-6222

E-mail: nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp

印刷

株式会社荒川印刷

名古屋市中区千代田2-16-38